

東京大学ピアノの会 十一月演奏会



2020年11月29日(日)

めぐろパーシモンホール 小ホール

開場 9:15 開演 9:30

——ご挨拶

本日は東京大学ピアノの会の十一月演奏会にお越し下さり、誠にありがとうございます。二月演奏会以来、実に9ヶ月ぶりの対面の演奏会の開催となってしまいました。生演奏の魅力を存分に伝えられる演奏会となればと考えております。

今回の演奏会は十一月演奏会と題して開催しておりますが、このように十一月に外部のホールで演奏会を開催するのは当会では前例のないことです。今回、このように十一月に演奏会を行うことになったのは、例年参加している駒場祭がオンライン開催となり、それに参加して生配信での演奏会を行うのではなくそれに参加せず対面で演奏会を行うのも良いのではないかと考えたためです。生配信でのコンサートは当会もオンライン五月祭に参加する形で行いましたが、やはり生での演奏でしか伝わらないものがあると感じております。対面での演奏会ができることの喜びを噛み締めつつ、無事に会員の演奏をお届けできればと思います。

今回の演奏会は私が会長として運営する最後の演奏会となります。去年の12月に会長に就任した際にはこのような一年間になるとは想像もしておりませんでした。最後にこのように演奏会が開催できて、やっとピアノの会らしいことができた感慨深い気持ちです。どうぞこれからも東大ピアノの会の演奏会に足をお運びいただければと思います。

東京大学ピアノの会 会長 福田理仁

——お客様へ

開演に先立ちまして皆様にお願いがございます。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、館内及びホール内でのマスクの着用、入口での手指消毒、こまめな手洗いの実施をお願い致します。また、ロビーでは他のお客様との間隔を十分確保し、会話は必要最低限にとどめていただきますよう、お願い申し上げます。声援や出演者へのプレゼントもお断りさせていただいております。万が一、体調が優れない場合には、お近くのスタッフまでお申し出ください。

会場内でのご飲食・ご喫煙・フラッシュのご使用はご遠慮ください。また会場への出入り、お席の移動は演奏の合間にお済ませください。携帯電話、時計のアラーム等の電源はあらかじめお切りください。全てのお客様に快適に演奏をお楽しみいただけますよう、ご協力お願い致します。

※プログラムの中で、「文Ⅰ」「理Ⅰ」などはそれぞれ教養学部文科一類、理科一類などを表します。

※所属学部に「進」が付く場合は、来年4月に当該学部に進学予定の教養学部生であることを示します。

※演奏者の学年で「M」「D」「L」はそれぞれ修士課程、博士課程、法科大学院性であることを表します。

——目次

プログラム----- 3

第1部 ----- 3

第2部 ----- 4

第3部 ----- 5

第4部 ----- 6

第5部 ----- 7

第6部 ----- 8

FP(From Performers) -----9

第1部 ----- 9

第2部 ----- 10

第3部 ----- 12

第4部 ----- 12

第5部 ----- 13

第6部 ----- 14

会場：めぐろパーシモンホール 小ホール

2020年11月29日(日) 開場 9:15 開演 9:30 終演 16:20

第1部 9:30-10:35

- | | | | | |
|---|---------------------|--|-----------|----|
| 1 | ラフマニノフ | 幻想的小品集 Op.3 より 第2曲 前奏曲
嬰ハ短調 「鐘」 | 三谷 深良惟 文I | 1年 |
| 2 | ガーシュウィン
ショパン | 3つの前奏曲 より 第1曲 変ロ長調
12の練習曲 Op.25 より 第12曲 ハ短調
「大洋」 | 井口 光輔 理I | 1年 |
| 3 | ドビュッシー | ベルガマスク組曲 より
第1曲 「前奏曲」・第3曲 「月の光」 | 森下 俊 文III | 1年 |
| 4 | ベートーヴェン
チャイコフスキー | ピアノソナタ 第7番 ニ長調 Op.10-3 より
第1楽章
「四季」 Op.37a より 11月 「トロイカ」 | 西原 凜 文 | 3年 |
| 5 | グリーグ | 抒情小曲集 第10集 Op.71 より 第1曲
「昔々」
抒情小曲集 第8集 Op.65 より 第6曲
「トロルドハウゲンの婚礼の日」 | 高橋 凜 桐朋 | 3年 |

6	ブラームス	ワルツ集 Op.39 より 第1曲 ロ長調	浅倉 早咲	桐朋	3年
		ハンガリー舞曲集 より 第4曲 へ短調	小宮 万奈	東女	3年
7	大町和海 プーランク	ロマンス	大町 和海	藝大	M1
		メランコリー FP 105			

第2部 10:45-11:40

1	ドビュッシー	ベルガマスク組曲 より 第3曲 「月の光」	熊谷 百花	茶女	1年
		「子供の領分」 より 第1曲 「グラドゥス・アド・バルナツスム博士」			
2	ショパン	12の練習曲 Op.25 より 第5曲 ホ短調	藤田 雪乃	文I	1年
3	ラヴェル	「夜のガスパール」 より 第3曲 「スカルボ」	久保 綺美	桐朋	2年
4	ベートーヴェン	ピアノソナタ 第23番 へ短調 Op.57 「熱情」 より 第2楽章・第3楽章	原田 和亮	理II	1年
5	ラフマニノフ	楽興の時 Op.16 より 第3曲 ロ短調・第4曲 ホ短調	富山 耀子	東音	1年
6	ラヴェル	「夜のガスパール」より 第1曲「オンディーヌ」	三田 有輝也	理I	1年

第3部 11:50-12:45

1	ショパン	夜想曲 第2番 変ホ長調 Op.9-2 12の練習曲 Op.10 より 第1曲 ハ長調	本田 和大	理 I	1年
2	ブラームス	ハンガリー舞曲集 より 第1曲 ト短調・第5曲 嬰へ短調	荒武 真央 神谷 八奈	文III 中央	1年 1年
3	Ayase	夜に駆ける	園田 隆博	工	M1
4	ドビュッシー ブラームス	ベルガマスク組曲 より 第2曲 「メヌエット」 6つの小品 Op.118 より 第2曲 「間奏曲」 イ長調	辻田 凌也	理進	2年
5	ショパン	12の練習曲 Op.10 より 第8曲 へ長調	永井 裕	理進	2年
6	カプースチン	8つの演奏会用練習曲 Op.40 より 第3曲 「トッカティーナ」・第7曲 「間奏曲」	和田 玲央	教養 進	2年
7	シューベルト	4つの即興曲 D.899 より 第3曲 変ト長調	武井 瑛貴	工進	2年

第4部 12:55-13:55

1	ラフマニノフ	楽興の時 Op.16 より 第4曲 ホ短調	中村 悠希	理 I	1年
2	フォーレ	舟歌 第3番 変ト長調 Op.42	若林 隼平	情理	M1
3	ショパン	夜想曲 第13番 ハ短調 Op.48-1 夜想曲 第5番 嬰へ長調 Op.15-2	松浦 流音	教養 進	2年
4	ブラームス	ピアノソナタ 第2番 嬰へ短調 Op.2 より 第1楽章	池田 和音	茶女	3年
5	モーツァルト	ピアノソナタ 第9番 ニ長調 K.311 より 第3楽章	杉浦 有咲	聖心	3年
6	ラヴェル	「クープランの墓」より 第5曲「メヌエット」・第6曲「トッカータ」	中村 歩美	医	3年
7	プロコフィエフ	ピアノソナタ 第1番 へ短調 Op.1	川波 葵	星葉 科	2年

第5部 14:05-15:05

1	ショパン	3つのマズルカ Op.59 より 第1曲 イ短調	福田 理仁	法進	2年
2	リスト	リゴレットによる演奏会用パラフレーズ S.434	山本 悠紀子	中央	3年
3	ショパン	バラード 第1番 ト短調 Op.23	若狭 希洋	薬	3年
4	ラフマニノフ	10の前奏曲 Op.23 より 第10曲 変ト長調	中村 優太	理	4年
5	J.S.バッハ	半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV.903	佐竹 那月	藝大	M1
6	リスト	超絶技巧練習曲集 S.139 より 第11曲 変ニ長調 「夕べの調べ」	内海 悠磨	信州	4年
7	ラヴェル	「夜のガスパール」 より 第3曲 「スカルボ」	方 大樹	工	M1

第6部 15:15-16:20

- | | | | | | |
|---|------------------|---|--------|----|----|
| 1 | モーツァルト＝
ヴォロドス | トルコ行進曲 | 菅原 悠斗 | 順天 | 6年 |
| 2 | ドビュッシー | 「子供の領分」より
第2曲 「象の子守唄」・第4曲 「雪は踊る」・
第6曲 「ゴリウォークのケーキウォーク」 | 高倉 眞優子 | 工 | D1 |
| 3 | J.S.バッハ
ショパン | 音楽の捧げ物 BWV.1079 より 3声のリチェルカーレ
バラード 第4番 へ短調 Op.52 | 松下 祐介 | 情理 | M2 |
| 4 | バルトーク | ミクロコスモス 第6巻 より
第140曲 「自由な変奏曲」・第143曲 「分かれた
アルペッジョ」・第144曲 「短2度と長7度」・
第147曲 「行進曲」 | 藤江 教貴 | 工 | M2 |
| 5 | スクリャービン | ピアノソナタ 第2番 嬰ト短調 Op.19
「幻想ソナタ」 | 水村 彰吾 | 理 | 4年 |

FP (From Performers)

第1部

1. 三谷 深良惟

ラフマニノフ 幻想的小品集 Op.3 より 第2曲 前奏曲 嬰ハ短調 「鐘」

和音の響きをお楽しみください。久しぶりに弾くので頑張ります。

2. 井口 光輔

ガーシュウィン 3つの前奏曲 より 第1曲 変ロ長調

ショパン 12の練習曲 Op.25 より 第12曲 ハ短調 「大洋」

1曲目は過去のP会の演奏曲目を見てもあまり見かけないガーシュウィンです。クラシックとポピュラー音楽を融合したような独特の作風が非常に魅力的ですよね。今回演奏する第1番は3つの前奏曲の中でも華やかでリズムカルな作品ですので、肩の力を抜いて楽しんで聴いて頂けたらと思います。

2曲目はいわゆる「大洋のエチュード」です。ショパンのエチュードには1曲を通じて同じ音型を繰り返すものがありますが、この曲もそのひとつです。にもかかわらずダイナミックで極めて高い芸術性をもつ作品に仕上げられていることに、ショパンの非凡な才能を感じさせられます。テイストの異なる2曲を並べることには戸惑いもありましたが、自分の弾きたい曲を弾こうと思った結果このような選曲になりました。練習期間が短く拙い演奏にはなりますが、どうぞお聴きください。

3. 森下 俊

ドビュッシー ベルガマスク組曲 より 第1曲 「前奏曲」・第3曲 「月の光」

二曲とも好きな曲です。短い練習期間でしたが、ドビュッシーの美しい和声と世界観を表現できるよう頑張ります。

5. 高橋 凜

グリーグ 抒情小曲集 第10集 Op.71 より 第1曲 「昔々」

グリーグ 抒情小曲集 第8集 Op.65 より 第6曲 「トロルドハウゲンの婚礼の日」

グリーグの抒情小曲集は小学生の頃に弾いたことをきっかけにハマリ、今でもとても大好きな曲なので今回弾けることを嬉しく思います。

『トロルドハウゲンの婚礼の日』は、グリーグが結婚記念日に妻ニーナ(ソプラノ歌手)に贈った曲です。歌曲のほとんどをニーナのために作曲していることから愛妻家であることが分かります。グリーグ夫妻は身長が150cmほどで小柄だったため、自分たちが住んでいるところをトロルドハウゲン(妖精の丘)と呼んでいたそうです。この曲の中間部での右手と左手で同じ旋律を歌うところは、まるで二人が対話し寄り添いあっているようで特に美しいです。

ロマンチックですが純粹で愛に溢れている、どこか懐かしい感覚のある作品を味わって頂ければ幸いです。

第2部

1. 熊谷 百花

ドビュッシー ベルガマスク組曲 より 第3曲 「月の光」

ドビュッシー 「子供の領分」 より 第1曲 「グラドゥス・アド・パルナッスム博士」

「月の光」

これはフランス人の詩人であるヴェルレーヌの「月の光」という詩からインスピレーションを受けて作られた曲です。

組曲の名前のベルガマスクというのは、ヴェルレーヌの詩「月の光」の中で使われています。詩を読んでも、深い意味とかはわかりませんが、切ない雰囲気だと思いました。美しいだけでなく静かで悲しい月の光を表現したいです。

ちなみにガブリエルフォーレもこのヴェルレーヌの「月の光」で曲をつくっています。こちらも素敵な曲です！

「グラドゥス・アド・パルナッスム博士」

この曲が含まれている「子供の領分」は、ドビュッシーの1人娘シュシュ（愛称）に献呈されました。

「グラドゥス・アド・パルナッスム博士」はクレメンティの練習曲をいやいや弾いているシュシュちゃんの姿を表現しています。曲の最後のどんっ、という音はもう練習やめた！という感じだと思っています。

ドビュッシーは娘の様子を曲にしたり微笑ましい感じなので、彼はいい家族を持っていたんだというイメージがありました。しかし、実は不倫などの女性トラブルが多かったようで、それを知った時すごく驚きました。

私は練習曲をいやいや弾くシュシュちゃんの気持ちがよくわかる（なぜならツェルニー30番が大っ嫌いだった）ので、その気持ちを思い出しながら弾きます。

4. 原田 和亮

ベートーヴェン ピアノソナタ 第23番 へ短調 Op.57 「熱情」 より 第2楽章・第3楽章

好きな言葉は、熱情です。

5. 富山 耀子

ラフマニノフ 楽興の時 Op.16 より 第3曲 ロ短調・第4曲 ホ短調

初めてこのような難しい曲に挑戦します！ラフマニノフの楽曲も初めてです！

「楽興の時」は、ラフマニノフが23歳の頃に作曲されました。

第3番は、葬送行進曲のような、近づいてくる「死」の足音が聞こえます。20代で何を思ったのでしょうか。心配になります！

第4番は、非常に技巧的で難しく、脱力に苦労しました。若さって無謀&無敵ですね！

今回が東京大学ピアノの会で初めての演奏になります。曲の雰囲気表現できるように頑張ります。

6. 三田 有輝也

ラヴェル 「夜のガスパール」 より 第1曲 「オンディーヌ」

ベルトランの詩「オンディーヌ」をモチーフにした曲です。ざっくりとしたあらすじは、水の精オンディーヌはある人間の男を誘惑、時には哀願して男にオンディーヌの夫として湖の王になってもらおうとするも男はやがて死ぬ運命にある人間の女の方が好きだと答える。するとオンディーヌは幾滴かの涙を流したのち突如甲高い笑い声をあげ水滴となって消え去ってしまう、というものです。この曲特有のシュールでかつ幻想的な雰囲気をお楽しみください。

第3部

1. 本田 和大

ショパン 夜想曲 第2番 変ホ長調 Op.9-2

ショパン 12の練習曲 Op.10 より 第1曲 ハ長調

Op10-1は、音色が綺麗でとても好きな曲です。上手なみなさんの前で弾くのは少し気が引けますが、自分なりに弾こうと思います。

2. 荒武 真央 神谷 八奈

ブラームス ハンガリー舞曲集 より 第1曲 ト短調・第5曲 嬰へ短調

ハンガリー舞曲集は、ブラームスがハンガリー旅行で聴いたジプシーや農民の音楽をもとに作曲されました。今回はその中から第1番と第5番を連弾で演奏します。激しい2拍子のリズムとともに、旋律の華やかさや、繊細さ、哀愁も伝わるよう演奏したいです。2曲の曲想の違いも楽しんでいただけたらと思います。

3. 園田 隆博

Ayase 夜に駆ける

ピアノは独学でしています。暖かい目で見ていただけたら嬉しいです。

第4部

1. 中村 悠希

ラフマニノフ 楽興の時 Op.16 より 第4曲 ホ短調

はじめての東大ピアノの会での演奏で緊張しますが、ロシア語選択者らしくロシアの雄大な感じを表現できるよう頑張ります。

2. 若林 隼平

フォーレ 舟歌 第3番 変ト長調 Op.42

夜街の運河をどんぶらこと漕いでいるよう。中間部の短調と長調の絶妙な入り組みは、行き先に何かを予感させる。数オクターブの上昇スケールで街からすっかり遠ざかり、夜空の星の明るさが増してゆく。夢想的な自然が煌びやかに現前する。そして、オーロラが空から降ってくるような「恍惚」を覚えて泣きそうになる。最初のパッセージでいつの間にか夜街に戻ってくる。

と、今まで私は勝手な解釈で酔いしれて弾いていたが、改めて調べるとフォーレは作曲した当時、舟歌の舞台：ヴェネツィアに訪れたことがなかったらしい。

フォーレはそれまでフランスにいたとすれば、どの運河から曲の着想を得たのだろう。ヴェネツィアに対する妄想や憧れを表現したのだろうか。

第5部

1. 福田 理仁

ショパン 3つのマズルカ Op.59 より 第1曲 イ短調

ピアノを始めた頃の頃からショパンの色々な曲を弾いてきましたが、大学生になって以来、ショパンの音楽に今までになく心を打たれるようになってきています。そこで今回は、ショパンの音楽の遊び心や魅惑的などころを学ぶべく、あまり挑戦してこなかったマズルカを弾いてみることにしました。練習してみると部分部分を突き詰めて練習しなければならない反面、曲の魅力を引き出すには適当に、言わば不真面目に弾かなければならないという矛盾に深く苦しめられ、さらにそれに悩んでマズルカらしさを見失っていくという悪循環に陥ることが多々あり、非常に苦労しました。ですが、その苦労が現れると今日の演奏もまたマズルカらしさを失ったマズルカとなってしまうので、今日の演奏会では曲への真面目さを心から完全に捨て去り、最高に不真面目なマズルカを弾けたら良いなと思います。

4. 中村 優太

ラフマニノフ 10の前奏曲 Op.23 より 第10曲 変ト長調

左手がチェロの旋律を担当します。次第に輪郭がぼやけていき、気付いたら曲が終わっています。もろい透明なガラスのような曲です。

第6部

3. 松下 祐介

J.S.バッハ 音楽の捧げ物 BWV.1079 より 3声のリチェルカーレ

ショパン バラード 第4番 へ短調 Op.52

J.S.バッハ 音楽の捧げ物 より 3声のリチェルカーレ

音楽の捧げ物はバッハの晩年の曲集で、共通の主題に基づく対位法的作品で構成されています。3声のリチェルカーレは、もともとバッハがフリードリヒ2世の前で即興演奏した曲であるとされており、この曲集の端緒となっています。音価が長く半音階の長い下降を含む主題、それに絡み合う和声展開と対位法、自由な嬉遊部。フーガではなく探求を意味するリチェルカーレという名前がよく似合う曲です。

ショパン バラード4番

今年の春、COVID-19による自粛期間をきっかけに、じっくり取り組める曲を何かやろうということで、ショパンのバラード4番を練習し始めました。旋律、和声、対位法、変奏といった要素が古典的な明解さを持って詰め込まれていながら、それらが一つの轟々とした流れとして押し寄せてくるような感覚があります。

3声のリチェルカーレの即興的な自由さとバラード4番の計算された濃密さは好対照ですが、和声の微妙な味わいという面で2曲はどこか共鳴するものがあるかもしれません。

4. 藤江 教貴

バルトーク ミクロコスモス 第6巻 より 第140曲「自由な変奏曲」・第143曲「分かれたアルペッジョ」・第144曲「短2度と長7度」・第147曲「行進曲」

ミクロコスモスは、私が小学生の時からずっと取り組んできた練習曲集です。ハノンを練習していると近所から苦情が来たので、その代替として始めたものですが、私がバルトークの曲に取り組むきっかけとなったものです。1巻から6巻まで合計で153曲あり、高校までに第5巻まで終わらせたのですが、大学に入ってからあまり進めておらず、昨年から今年にかけて、ようやく6巻を全部練習できました。

昨年の卒業演奏会で、140・142・146・148-153「6つのブルガリアリズムによる舞曲」を演奏しましたが、今回は140・143・144・147と少し構成を変えて演奏します(140だけ被っていますが)。個別の曲紹介は割愛させていただきますが、概ね題名の通りです。

バルトークの作曲のエッセンスが詰まったものです。どうぞお楽しみ下さい。

東京大学ピアノの会 十一月演奏会

日時：2020 年 11 月 29 日（日）

場所：めぐろパーシモンホール 小ホール

主催：東京大学ピアノの会 (<http://www.p-kai.net>)

会長：福田 理仁

(連絡先: rihito-fukuda@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)

プログラム・表紙 作成：武井 瑛貴